

<白金標準先物、市場心理は悲観から疑心へ移行し 3800 円へ・・・>



(出所：オアシス)

中国の規制強化の動きや東南アジアにおける感染拡大を受けた半導体不足に伴う大手自動車会社の工場休止の報道などで 3500 円～3400 円で底張りを続けた白金標準先物は、週末に発表された雇用統計で非農業部門就業者数が事前予想を大幅に下回る結果となり、早期のテーパリング開始の憶測が後退している。そのため週末に 3600 円を回復しながら底張りのレンジを離脱する値動きを強めており、目先 3645 円の売り方の急所である価格を試す可能性は高まっているのではないかと見られる。

特に 3645 円を上回る事が出来ると酒田五法の逆三尊からの離脱が達成され、8 月の高値 3774 円に向けた上昇が強まると考え、回帰相場の値動きに期待が高まると予想される。

(2021 年 9 月 5 日記載)

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では MACD とシグナルが上昇を継続し、MACD とシグナルの乖離を示すヒストグラムも拡大を継続している。RCI でも短期が上昇し、長期も底張りから切り上げており、MACD と RCI は強気の継続を示す動きを見せている。また移動平均線でも 10 日移動平均線が底張りを見せ、日足が 10 日移動平均線を上回るなど、今後 40 日移動平均線へ向けた戻りが予想される。

<データ>

NYMEX 指定倉庫在庫 (トロイオンス) : 532572 (前週比-20037)

世界プラチナ ETF 残高 (トン) : 72.69 (前週比-0.67)